様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和３年　４月　１日

愛 知 県 知 事　殿

提出者

住 所　安城市横山町寺田　35 番地４

氏 名　㈱ナルセコーポレーション

代表取締約　成瀬 日出登

電話番号　0566-76-2175

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名 称	株式会社　ナルセコーポレーション
事業場の所在 地	安城市横山町寺田 35 番地４
計画期　間	令和３年４月１～令和４年３月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種 類	06　総合工事業
②事業の規 模	前年度の完工高： 19.0 億円
③従業員 数	40 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	土木、建築工事：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石及び再生アスファルトとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して RPF 燃料として再資源化 木くず→再生業者に委託してチップとして再資源化 金属くず→再生処理業者に売却、再資源化 推進工事：汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本社総務部（事務担当者）

↕

工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告）

↕

下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1　現状

【前年度（令和２度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出　量	3543	45

（これまでに実施した取組）

必要以上に撤去しない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
排出　量	3400　t	40　t

（今後実施する予定の取組）

出来るかぎり工場制作を行う。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。

産業廃棄物の分別に関する事項

	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類を分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本社総務部（事務担当者）
↕
工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告）
↕
下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属類
	排出　量	60 t	1 t
	（これまでに実施した取組） 木くず→　一般の方に無料配布 金属類→　特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	金属類
	排出　量	50 t	1 t

		（今後実施する予定の取組） 木くず→　一般の方に無料配布 金属類→　特になし

産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	（管理体制図） 本社総務部（事務担当者） ↕ 工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告） ↕ 下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス．陶磁器くず
		排出　量	13t	20t

		（これまでに実施した取組） 特になし
	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス．陶磁器くず
排出　量	10 t	10 t

（今後実施する予定の取組）

作業工程の短縮

産業廃棄物の分別に関する事項		
	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本社総務部（事務担当者）

↕

工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告）

↕

下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	2　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず
		排出　量	１ｔ	１ｔ
		（これまでに実施した取組） 特になし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず
		排出　量	１ｔ	１ｔ
		（今後実施する予定の取組） 作業工程の短縮		
産業廃棄物の分別に関する事項				
	①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。		
	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
	（管理体制図） 本社総務部（事務担当者） ↕ 工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告） ↕ 下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

3　現状	【前年度（令和２度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず
	排出　量	71 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず
	排出　量	60 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 作業工程の短縮		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

本社総務部（事務担当者）
↕
工事部（土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告）
↕
下請会社（収集運搬及び処分）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

4　現状	【前年度（令和２度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト
	排出　量	０ｔ	０ｔ
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト
	排出　量	０ｔ	０ｔ
	（今後実施する予定の取組） 作業工程の短縮		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管している。 汚泥は発生時に回収している。

	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状と同じ

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に実施していない	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 中間処理については、委託処理により実施していく。	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に実施していない	
	②計画	【目標】	
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う	t	t

		産業廃棄物の量		
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 中間処理については、委託処理により実施していく。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
		全処理委託量	3543　t	45　t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t

			再生利用業者への処理委託 量	3543 t	45 t
			認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		

		産業廃棄物の種類	木くず	金属類
		全処理委託 量	60 t	1 t
		優良認定処理業者への処理委託 量	t	t
		再生利用業者への処理委託 量	60 t	1 t
		認定熱回収業者への処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特になし		

（第４面）　3/6

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t

		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス．陶磁器くず
	全処理委託量	13 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	13 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

2　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	2　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず
		全処理委託量	１ t	１ t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	１ t	１ t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
	3　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った	t	t

		産業廃棄物の量		
		（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	3　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず
		全処理委託量	71 t	0 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	71 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（これまでに実施した取組） 特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
4　現状	【前年度（令和２年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
4　現状	【前年度（平成 31 度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		（これまでに実施した取組） 特になし

	②計画	【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
全処理委託量	3400　t	40　t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	3400　t	40　t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。

※事務処理欄	

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>金属くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>50　t</td><td>1　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td></td><td>50　t</td><td>1　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td></td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②計画</td><td>【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>
<table>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td>ガラス．陶磁器くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>10　t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>10　t</td><td>10 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>石綿含有がれき類</td><td>紙くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託量</td><td>1t</td><td>1t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1t</td><td>1t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>混合物</td><td>繊維くず</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託 量</td><td>60　t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託 量</td><td>60　t</td><td>0 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>石綿含有混合物</td><td>アスベスト</td></tr>
<tr><td colspan="2">全処理委託 量</td><td>0 t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託 量</td><td>0 t</td><td>0t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託 量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）

委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。

＊公共工事の受注（工事内容）状況により大きく変動する場合あり。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

2　当該年度の６月 30 日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の 11 第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。